



かんじ 漢字はどれくらいあるの

よくわかっていない

かんじ 漢字は、もともと ちゅうごく 中国 でできた文字です。その ちゅうごく 中国 に、どれくらいの かんじ 漢字があるのか、
いま 今でもよくわからない じょうたい 状態 なのです。

いちばん 少なくとも 見つめても、およそ、5 万字はあることは たいし 確か かなようです。しかし、それ
いじょう 以上 になると、はっきりした ずうじ 数字 はよくわかりません。

しょうがっこう 小学校 で習う かんじ 漢字は、およそ 1000

わたしたちが しょうがっこう 小学校 で習う かんじ 漢字は、およそ 1000 字です。しんぶん 新聞 を読むには、1500 字
から、2000 字の かんじ 漢字を知っていればよいといわれています。ですから、しょうがっこう 小学校 で習う
かんじ 漢字は、せいかつ 生活 する上でとても じゅうよう 重要なものばかりなのです。

ちゅうごく 中国 と かんじ 漢字 では ちがう ちがう

わたしたちが使っている かんじ 漢字の多くは、だい 第 2 次世界大戦後に、やさしくつくりかえられた
ものです。「さくら」という かんじ 漢字は、かつて「桜」と書きましたが、いま 今 は「桜」と書か
す。

ちゅうごく 中国 でも、かんじ 漢字を かんたん 簡単に かく 書くようにあらためられたので、もとの文字と げんざい 現在の文字と
では大きく変わってしまいました。日本と ちゅうごく 中国 は、もともと 同じ かんじ 漢字を使っていたのに、いま
では、それぞれ ちがう ちがう 字になったものも多いのです。(監修・田代 脩)

